



小布施

ココロ
あそび

2017 秋

桜井  甘精堂

ページをめくるとココロは日常を離れ、小布施へあそぶ…そんな時間になりますように。



栗どらやき

ふわふわと心許ない皮ではなく、
どっしりと「銅鑼」を彷彿させる正統派。
その分、やや小ぶりにお作りしています。



栗薫る 小布施の

秋

「今年もいい栗ができましたよ」

契約農家さんからの見事な栗を
蒸し、実を取り出して裏漉しし、
昔ながらの釜で砂糖と練り合わせ
て、1年分の栗餡を作ります。

練りの具合を決め
るのは、職人の勘。「腕
にかかる圧力」で見
極めます。

観光のお客様も多
い秋は、小布施が最
もにぎわう季節。

おいでくださったお客様に喜ん
でいただける「ご自用の、『普
段着の栗菓子』を作りたい」そ
んな思いから「栗どらやき」は生
まれました。

栗の風味を邪魔するものは入れ
ない。

どらやきの皮によく使われる蜂
蜜やベーキングパウダーを使わ

ず、三年熟成の本みりと重曹。
そして小麦粉と元気な卵。

皮を焼く銅板の火加減やタネの
濃度を決めるのは「職人の技」。

刻んだ栗を混ぜ込んだ栗餡を、
たっぷり詰めるのも手仕事です。

さあ、手に持って、パクリとど
うぞ。

新栗ならではの濃厚な風味が、
口中に広がります。

どっしり、なのにアッサリ。秋
ならではの「口福」です。





油彩「方舟」

1167mm×910mm 鈴木武樹 作



【小さな栗の木美術館】
■開館時間
10時30分～17時
■火曜定休

「隣の喫茶店で作品展があって、そこで初めて鈴木武樹さんの絵と出会いました」と弊堂七代目・桜井佐七。それ以来ご自宅を訪ねる仲となり、癒と闘いながら描いたこの絵を、「多くの方に見て頂きたい」と夫人から託された。

赤、白、緑、そして黒。色の海を漂う方舟は、すでに黄泉の国へと漕ぎ出していたのだろうか。強烈な色彩からは想像もできないような「実に穏やかで、謙虚なお人柄の方でした」と桜井佐七は懐かしむ。

第62回長野県展(2010年)でSBC賞を受賞。鈴木武樹の晩年を代表する作品と言えよう。

「小布施でよかった！ って本当に思います」と日影さんは印象的な瞳を輝かせた。

20代の目標だった1人暮らしと転職。選んだのは「小布施町地域おこし協力隊員」だった。北斎以来、外からの風に寛容な文化があるのではと語る。「40代～50代の方々のチャレンジ精神が素晴らしいです。私の提案にも『とにかくやってみよう』と力を貸してくださるし・・・」。半面、同年代の「シャイさ」を少しもったいないとも感じている。

今後の目標は音楽イベントの実現だ。「若い人が主体的に動けるようにしたいし、開催までの過程を大事にしたいです」。そのイベントが、若い人たちが繋がるきっかけになることを期待し、駆け回る日々。善光寺落雁とコーヒーがエネルギーをチャージしてくれる。



撮影場所：小布施総合公園内スポーツコミュニティセンター

日影詩織 [ひかげ・しおり]

1988年 東京都生まれ。小布施町在住 小布施町地域おこし協力隊員

05
SAKURAIKANSEIDO 人

Obuse MAP

小布施への アクセス access

- 上信越自動車道「小布施スマート(ETC専用)IC」から5分「信州中野IC」から7分「須坂長野東IC」から15分
- [東京駅から]北陸新幹線(約1時間45分)→長野駅
● [新大阪駅から]東海道新幹線(約55分)→名古屋駅→特急しなの(約3時間)→長野駅
● [金沢駅から]北陸新幹線(約1時間)→長野駅
- 「長野駅」からは「長野電鉄」特急で最短22分→小布施駅



シゴトノココロ

「VOL.1」栗の木テラス パティシエ 永井 洋(ながい ひろし)

母の幸せそうな姿が原点

モンブラン、フィナンシェなど昔からの定番商品には、ありがたいことに、『ここでのなければ!』と仰ってくださいのお得意様が沢山いらっしゃるの、ご期待に添うようにと丹精込めています。華々しさはなくても、「召し上がれば納得していただけるもの」を作り続けたいです。

この仕事を志した原点は、「母の手作り菓子」でした。クッキーやパウンドケーキ、時にはシュークリームなどを、



私たち4人兄弟のために作ってくれました。お菓子を作っている時、母のととても幸せそ

うな姿が幼かった私の目に焼き付いています。その母の姿に私たちもわくわくウキウキしてくる。漂ってくる甘い香りをかきながら、お菓子の出来上りを待つのは、幸せな時間でした。

「幸せな仕事」。本当にそう思います。帰り支度をするまで、すべてが楽しいですね。

定番商品を大切に作りながら、時代の風にも敏感でありたい。そう思う毎日です。



◀栗の木テラスの洋菓子工房から駐車場へ通じる石畳には、ハート型の石が2つ入っています。恋人同士で見つけると結ばれるとか。恋人募集中かとか…。絵のように美しい秋の小布施では、きっと信じたくくなります。

ました。
トップシーズン到来。栗畑には栗がたわわに実り、209年前から作り続ける栗菓子に、「この時期だけ」のお品が加わる秋。小布施でお待ちしております。

「特別なチーム(?)は、「小布施らしいおもてなし」と野点を企画。100杯用意したお抹茶は30分でなくなり、「シヤレのつもりが、こんなに喜んで頂けるとは!」と嬉しい誤算となり



[05] 秋号



紹介者:カフェ茶蔵・木下 香菜 (きのした・かな)

都内のホテル勤務で夫と知り合い、夫の故郷・小布施に戻ってきました。

1 shop 8

桜井甘精堂

「カフェ茶蔵」



秋の小布施は本当に美しく、楽しいイベントが盛りだくさんです。小さな町なのでトップシーズンはどこの飲食店も長蛇の列になります。「時間がないから」と小布施の名物を何も召し上がらずにお帰りになるお客様がいらしては申し訳ない。そんな思いから、テイクアウト店「茶蔵」は生まれました。栗おこわのおにぎりやモンブランを秋風爽やかなお気に入りの場所で、なんていかがでしょうか？

色も小さな姿もまるで栗のような「くりあげまんじゅう」(110円)もおススメです。米油で揚げているので黒糖入りの皮の外側はカリッと、中はふわっと。白餡を少しだけ加えた餡はなめらかで、「カリッ、ふわっ、とろっ」という食感の変化をぜひ楽しんでください。

町の情報をご案内する「コンシェルジュ的な役割」もあると思っていますので、どうぞお気軽にお尋ねください。

- 営業時間/9:00~16:00
- 休/木曜日※冬季休業あり
- 小布施駅から徒歩で7~8分

1/8 shop LIST

本店	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施774 TEL.026(247)1088	栗の木テラス	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施784 TEL.026(247)5848
泉石亭	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779 TEL.026(247)5166	ながの東急店	〒380-8539 長野市南千歳1-1-1 ながの東急地階 TEL.026(229)9707
カフェ茶蔵	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779 TEL.026(247)5601	MIDORI長野店 甘味屋幾右衛門	〒380-8543 長野市南千歳1-22-6 JR長野駅 MIDORI長野2階 TEL.026(219)6141
北斎亭	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施810-3 北斎館よこ TEL.026(247)5740	軽井沢店	〒389-0103 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1番地12 C号室 TEL.0267(42)9966

小布施ココロあそび vol.5 2017年9月発行

桜井甘精堂
本社企画室

〒381-0298 長野県上高井郡小布施町2460-1 (日・祝休み)
Tel 026-247-2132 Fax 026-247-5142
mail: planning@kanseido.co.jp

<http://www.kanseido.co.jp/>

